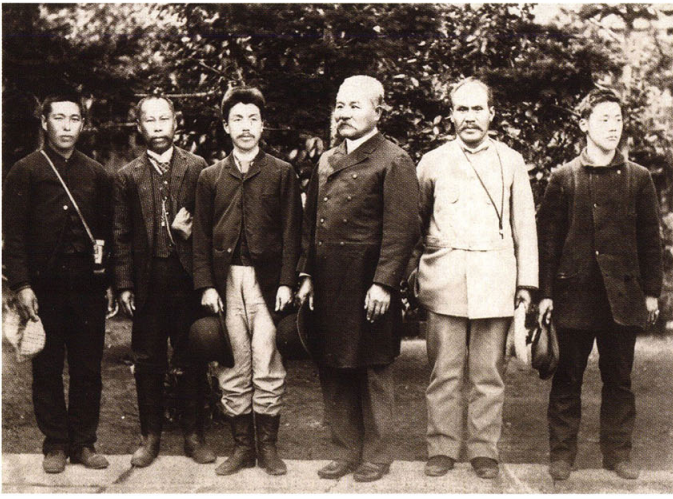


33 明治二十四年同二十五年千島探検諸島之実景写真
遠藤陸郎

明治二十四(二十五)年(一八九一)九二 一冊 三の丸尚蔵館

明治天皇は、開発、防衛の目的で内務省始め各官庁の視察や海軍省の探検が行われるようになった北海道へ、侍従片岡利和を差遣し千島地方を視察させた。明治二十四年十月、片岡は東京を出発、函館港から千島地方へ渡り、色丹島、択捉島に上陸、得撫島から最北端の占守島へと航海、約一年間の行程を経て翌年九月に帰京、十月二日に復命書を奉呈した。この視察の模様を同行した仙台の写真師遠藤陸郎が撮影し、全百三十四枚の写真によって報告したのが本写真帖である。内容は、積雪に覆われた冬期の千島地方の雄大な風景を複数枚のカットで収めたパノラマ写真や、現地で生活を送る人々の様子、険しい行程を物語る視察の実況写真など多岐にわたる。この御差遣による片岡侍従の千島探検を契機として、千島地方の開拓が本格的な軌道に乗ることとなった。



33-4 明治25年9月8日 千島探検を終え帰京の途次根室に於て紀念の爲め一行撮影す(右から3人目が片岡利和)



33-1 明治24年11月15日 千島国色丹島村民



33-2 明治25年2月11日 択捉島薬取村字ヒライシベツ山中シベトリ橇そりを用いて薪材運搬の様子



33-3 明治25年3月1日 択捉島薬取村字トツカリモイ沖合氷鎖の景



- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

明治天皇 邦を知り国を治める——近代の国見と天皇のまなざし

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 67

編集 宮内庁書陵部

宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

黒川廣子

翻訳 宮内庁

発行 宮内庁

平成二十七年一月十日発行

© 2015, The Archives and Mausolea Department
The Museum of the Imperial Collections, Sanmonmaru Shōzōkan
Imperial Household Agency